

第 59 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第59回日本神経学会学術大会
大会長 佐々木 秀直

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2018（平成 30）年 5 月 23 日（水）～ 26 日（土）
「神経疾患の克服を目指して」をテーマとして、上記日程で開催致します。
2. 学術大会会場：ロイトン札幌
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11 丁目
さっぽろ芸術文化の館
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 12 丁目
札幌市教育文化会館
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 13 丁目
3. 演題募集期間：2017 年 10 月 2 日（月）正午～ 11 月 24 日（金）正午
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。
※医学生・初期研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。詳細はホームページ
をご確認ください。(<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/>)
4. 事前参加登録：2018 年 2 月中旬開始予定
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。
※日本神経学会第 11 回専門医育成教育セミナー、第 15 回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」、
第 5 回メディカルスタッフ教育セミナー、及び教育コースもオンラインによる事前登録制とする予定
です。
※詳細は追ってホームページでご案内いたします。(<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/>)
5. お問い合わせ
【大会長校事務局】
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学
〒 060-8638 北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目
【日本神経学会事務局】
〒 113-0034 東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号一丸ビル
TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931
【第 59 回学術大会運営事務局】
〒 102-0075 東京都千代田区三番町 2 株式会社コンベンションリンクージ内
TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8693
E-mail：neuro2018@c-linkage.co.jp

一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
2. 演題募集期間：2017 年 10 月 2 日（月）正午～ 11 月 24 日（金）正午
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。

3. 演題要旨作成時の注意

- (1) 演題の制限：1 演者につき 1 題にします。ただし、共同演者になることは差し支えありません。一施設から多数の申し込みも歓迎いたします。
- (2) ご登録いただく項目
 - ◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）
 - ※基本は、抄録の登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定ですが、内容によっては、抄録が英語でも日本語発表を、あるいは抄録が日本語でも英語発表をお願いする場合があります。ご了承ください。
 - ◎発表形式区分：口演もしくはポスターより選択
 - ◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は 20 名以内
 - ◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は 10 機関以内
 - ◎演題名（日英）：日本語は全角 40 文字以内、英語は半角 100 文字以内
 - ◎演題抄録：
 - ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによる言語指定あり）
 - ・日本語は全角 800 文字以内、英語は半角 1,600 文字以内とします。
 - ・【目的】、【方法】、【結果】、【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行はしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
 - ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。
 - ◎動画の有無：ポスター発表として採択された場合に「動画あり」を選択された方には、ポスターパネルに、動画 URL の QR コードをお貼りいただけます。
- (3) 筆頭演者は本学会の会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は登録前に必ず入会申請を行い、入会手続きをお取りください。2017 年 12 月 22 日（金）正午までにご入会手続きが完了していない場合はご登録いただいた演題を不採択とさせていただきます。ご了承ください。

日本神経学会事務局

〒 113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階

TEL : 03-3815-1080 FAX:03-3815-1931

（受付時間：平日 10:00 ~ 17:00）

- (4) 応募演題の研究の内容により、厚生労働省等による倫理指針（臨床研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、ヒト幹細胞を用いる臨床研究など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」（http://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf）をご覧ください。
- (5) 演題の査読を行いますので、演題名や抄録本文の中で、所属機関が明らかになるような記述や、筆頭著者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。
- (6) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。
- (7) 一般演題の一例報告については原則認めません。ただし、症候学的、学術的な面などから深く検討されている内容であれば、審議の上採択する場合があります。
- (8) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (9) 第 59 回日本神経学会学術大会最優秀賞を設けますので、抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後 15 年未満とします。正会員に限らず、学生会員および研修医会員も応募可能です。
- (10) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。プログラム・抄録集の“抄録集”部分が「臨床神経学サプリメント号」として認定されております。掲載ページには「臨床神経学 58 巻サプリメント号 S-〇〇」という頁数が付与されます。

4. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保して遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI と略す）」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反」の入力欄にて「あり」「なし」をご選択ください。「あり」の場合、演題登録後に日本神経学会 WEB サイトの所定ページより「COI 自己申告書様式」をダウンロードいただき、ご記入の上、書留にて下記まで送付してください。

提出締切：2017 年 12 月 8 日（金）必着

COI 自己申告書付送先

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル

日本神経学会事務局 59 回大会 COI 受付係

TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931

なお、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上記学会事務局までお問合せください。

5. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている 7 ケタの登録番号を以て、2018 年 2 月中旬頃より、大会ウェブサイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時などの通知は致しませんので、必ず大会ウェブサイトをご確認ください。ご発表日の希望ならびに、決定後の発表日時変更は承りません。ご調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

6. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PC からの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USB メモリーまたは CD-R）での持ち込みとなります。ただし動画がある場合にはご自身の PC をご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 利益相反の開示についてのスライドをご提示いただけます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (6) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。ただし、英語セッションにおいては口演スライドは必ず英語で作成してください。
- (7) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表 10 分+質疑応答 5 分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

7. ポスター形式による発表方法

- (1) 展示パネルは縦 210cm × 横 90cm の予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会事務局で用意いたします。演題・所属・氏名（簡単に）は各自で 20cm × 70cm に横書きしてください。
- (2) ポスターは要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は 2～3m 離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が 20cm 以上の大きさにタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) 演題登録時に「動画あり」にチェックをされた方は、ポスターパネル上の指定スペースに、動画 URL の QR コードをお貼りいただけます。QR コード準備方法の詳細は後日ウェブサイトに掲載いたします。
- (4) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (5) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は会場に用意いたします。
- (6) ポスター発表のスケジュール等は演題採用通知を発表後にご案内させていただきます。
- (7) 研究倫理規定および個人情報保護の諸規定を順守してご発表ください。
- (8) 利益相反の開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会の国際化のため、ポスターはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。ただし、英語セッションにおいては、ポスターは必ず英語で作成してください。

(10) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表5分+質疑応答1分、総合討論30分を予定しています。(プログラムの都合により若干変更する場合がございますのでご了承ください)

8. 日本神経学会 学術大会運営委員 (50音順・敬称略)
 阿部 康二 宇川 義一 梶 龍兒 加世田ゆみ子 吉良 潤一 楠 進
 佐々木秀直 鈴木 則宏 高橋 良輔 西澤 正豊
9. 第59回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員 (50音順・敬称略)
 饗場 郁子 青木 正志 赤松 直樹 熱田 直樹 阿部 康二 安東由喜雄
 飯嶋 睦 池内 健 池田 昭夫 池田 佳生 榎本 博之 大槻 美佳
 岡澤 均 荻野美恵子 小栗 卓也 小野寺 理 加世田ゆみ子 河内 泉
 菊地 誠志 北川 一夫 木村 和美 桑原 聡 古和 久典 佐光 亘
 清水 潤 清水 利彦 下濱 俊 東海林幹夫 関島 良樹 高嶋 博
 高橋 祐二 瀧山 嘉久 武田 篤 田中 章景 坪井 義夫 徳田 隆彦
 徳丸 阿耶 戸田 達史 豊田 一則 中島 孝 長峯 隆 西川 典子
 西野 一三 長谷川一子 長谷川隆文 花島 律子 原 元彦 平田 幸一
 水野 敏樹 三井 良之 三原 雅史 宮嶋 裕明 村井 弘之 村松 慎一
 望月 秀樹 本村 政勝 森田 昭彦 山崎 亮 山田 正仁 山中 宏二
 横山 和正 吉田 眞理 米田 誠 若林 孝一 矢部 一郎 (事務局)
10. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50音順・敬称略)
 青木 正志 安東由喜雄 和泉 唯信 宇川 義一 梶 龍兒 北川 一夫
 吉良 潤一 楠 進 古和 久典 佐々木秀直 砂田 芳秀 園生 雅弘
 富本 秀和 服部 信孝 三井 良之 矢部 一郎

各種企画のお知らせ

☐…英語セッション

1. 大会長講演 (5月24日(木)午後 予定)
 佐々木 秀直
 (北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学 教授)
2. Plenary Lecture (5月23日(水)午後 予定) ☐
 「Meeting the Dementia Challenge in the UK」
 Martin Rossor, M.D. FRCP FMedSci
 (NIHR National Director of Dementia Research, The UCL Institute of Neurology, UK)
3. Semi-Plenary Lecture (5月24日(木)午後 予定) ☐
 「Taming the beast: update on therapies in the pipeline for MSA」
 Gregor K. Wenning, M.D., Ph.D. MSc
 (Chair Division of Neurobiology, Innsbruck Medical University, Austria)
4. 特別講演1 (5月25日(金)午後 予定)
 「HIVの治療薬開発(仮題)」
 満屋 裕明
 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所 所長)
5. 特別講演2 (5月25日(金)午後 予定)
 「日本神経学会設立から116年—歴史を学び未来に生かす」
 葛原 茂樹
 (鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科 教授)

6. 日本神経学会 2016 年度学会賞・楳林賞受賞者招待講演 (5月25日(金)午後 予定)
2016 年度学会賞 (学術研究部門): 船山 学 (順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター)
2016 年度楳林賞: 若林 孝一 (弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座)
7. 日本神経学会 2017 年度学会賞・楳林賞受賞者招待講演 (5月24日(木)午後 予定)
2017 年度学会賞 (学術研究部門): 宮武 聡子 (横浜市立大学附属病院遺伝子診療部)
2017 年度学会賞 (診療部門): 吉良 潤一 (九州大学大学院医学研究院脳神経病研究施設神経内科学)
2017 年度学会賞 (診療部門): 楠 進 (近畿大学医学部神経内科)
2017 年度楳林賞: 服部 信孝 (順天堂大学大学院医学研究科神経学)
8. East Asian Neurology Forum 関連プログラム (5月23日(水)午前・午後 予定) [E]
9. Neuroscience Frontier Symposium/ ホットトピックス/ 神経疾患の克服を目指して/ ガイドラインコース/ シンポジウム等 (予定)
5月23日(水)午前
・筋炎の最前線
・How neurons keep calm and carry on: roles of quality control in neurodegenerative diseases [E]
・認知症大規模共同体研究 [E]
・痙性対麻痺: up to date
・ALS の病態関連分子と治療開発の展望
5月23日(水)午後
・我々は, ALS を, 早期に診断し, 正確に経過を追うことができるのか?
・改訂てんかんガイドライン
・自己免疫性脳炎の臨床スペクトラムの拡がり
・脳梗塞急性期医療
・Nucleic acid therapeutics (ついに実現した神経変性疾患の核酸医薬) [E]
・Research frontline of hereditary cerebellar ataxias (遺伝性小脳失調症の病態研究フロンタライン) [E]
5月24日(木)午前
・パーキンソン病認知症の発症予測
・行政のキーパーソンに聞く, これからの医学臨床・教育・研究
・脳虚血病態の基礎から translational research へ
・ミオクロームスの最近の知見
・難病法下における難病医療提供体制~神経内科医のミッション~
・New approach to the cerebral small vessel disease (脳小血管病のこれからの展開) [E]
・Current topics in acute encephalitis update—advance in diagnosis and treatment of autoimmune encephalitis [E]
・神経内科医が知っておくべき代謝性神経疾患 = 保険治療の最前線 =
5月24日(木)午後
・認知症臨床の最前線
・Intra- & into-the- brain propagation of α -synuclein: significance for the pathogenesis, progression and therapeutic target of Lewy body diseases (Intra- & into-the- brain propagation of α -synuclein: レビー小体病の発症・進展機序および治療標的としての重要性) [E]
・脳梗塞再発予防の最新の話
・シンポジウム: レジストリー・コホート研究が目指すもの—病態解明・創薬に向けて
・ヒトプリオン病の診断・治療法開発の新展開
・GBS, CIDP 研究の最前線—分子基盤から疫学まで—
・To pursue the best treatment of MG (重症筋無力症のベストな治療をめざして) [E]
・Toward the early diagnosis and treatment of Progressive Supranuclear Palsy (進行性核上性麻痺の早期診断・早期治療をめざして) [E]
5月25日(金)午前
・遺伝性ジストニア—update
・ノンコーディング RNA が関わる ALS や SCA に共通する新たな神経変性メカニズム

- ・超急性期脳卒中，時短最前線
- ・神経内科医が知っておくべきゲノム医療の最先端
- ・神経内科医の燃え尽き症候群を防ぐために～バーンアウトしないための Tips をシェアしよう～
- ・スポーツ神経学の現状と将来展望～基礎から臨床まで～
- ・New frontier of epileptogenicity: translatability between basic and clinical fields (てんかん病態の新知見：基礎と臨床の translatability) [E]
- ・Pathological basis and therapeutic strategy for neuropsychiatric symptoms (神経内科が診る精神症状の病態基盤と治療戦略) [E]

5月25日(金)午後

- ・シンポジウム：ゲノムから孤発性神経疾患が解明できるか？
- ・機器をつかった機能再生と運動学習
- ・神経疾患の新薬開発・医師主導治験の最前線
- ・Charcot-Marie-Tooth 病の最新の診断と治療
- ・新しい中枢神経刺激治療法 現状と未来
- ・Cross-interaction of neuro-immune axis in autoimmune disorders of the CNS (中枢神経系自己免疫疾患における神経・免疫の相互作用) [E]
- ・アルツハイマー病最先端 [E]

5月26日(土)午前

- ・片頭痛の謎を解き明かす
- ・新たに確立された神経疾患：その臨床および病理像
- ・いま，Neuroimaging で見えるもの，見なければいけないもの
- ・パーキンソン病治療の Unmet Needs を考える
- ・神経難病の多職種連携～すぐに役立つケアを目指して～
- ・21世紀の女性医師の活躍促進～ポジティブに仕事を楽しもう！
- ・Gene & Cell Therapy for Neurological Diseases (神経疾患の遺伝子・細胞治療) [E]
- ・Prion-like phenomenon: From myth to reality [E]
- ・SCD・MSA 診療ガイドラインとその活用

5月26日(土)午後

- ・パーキンソン病の自律神経機能障害
- ・神経免疫難病のトランスレーショナルリサーチ：モデルから目指す創薬

9. レクチャーマラソン
10. 教育コース (事前登録制)
11. メディカルスタッフポスターセッション (5月25日(金)・26日(土) 予定)
12. 医学生・初期研修医セッション (5月26日(土) 予定)
13. 各種共催セミナー
14. 神経内科ウィーク (市民公開講座)
15. 日本神経学会主催セミナー (事前登録制)
 - ・第15回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月23日(水)午前・26日(土)午後 予定)
 - ・第15回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月23日(水)午前・26日(土)午後 予定)
 - ・第11回専門医育成教育セミナー (5月23日(水)午前・午後 予定)
 - ・第5回メディカルスタッフ教育セミナー (5月26日(土)午後 予定)
 - ・市民講座 (5月27日(日)午後 予定)

※プログラムの最新情報については，大会ウェブサイトをご確認ください。

以上